

【学校教育目標】「感謝の心をもち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 24 号

令和 7 年 2 月 10 日

南島原市立堂崎小学校

校 長 末吉 優

春の訪れを感じます。2月2日は節分、そして、3日は立春でした。

2月2日は節分。御家庭でもお面づくりをして心の鬼退治をされたのではないのでしょうか。節分とは、季節の分かれ目を指し、もともとは、立春、立夏、立秋、立冬の前の日を言いました。今では、豆まきの風習が残っている2月の立春の前の日だけを言うようになりました。



節分には、昔の家庭では、柊(ひいらぎ)の枝にイワシの頭を焼いたものをさし、門の戸にはり付ける習慣があるそうです。季節の変わり目には邪気が入りやすいとされていたので、それを追い払うために飾りを付けたり、大豆の煎ったものをまいたりしました。今でも豆まきの風習は残っています。豆まきの後、新年の厄除けを願って、自分の年より一つ多く的大豆を食べます。最近では、恵方(幸運を招く方角)を向いて太巻きをまるかじりする関西の風習も人気ようです。



先日の給食のメニューには、イワシ料理と豆がありました。また、絵本でも御存知のように、「おにたのぼうし」(作:あまん きみこ 絵:岩崎 ちひろ)にも、上記の内容が記されています。

立春とは、春の気配が現れるという意味です。旧暦では、この頃が一年の始まりでもありました。立春が過ぎても、まだまだ寒い日が続く時期ですが、日差しの強さに春の訪れを感じます。春は、もうそこまで来ています。健康に気を付けて一年のまとめである3学期を乗り切ってもらいたいものです。

3年生福祉体験 【1月24日(金)】

瑞穂町より平辻様、深江町より長谷川様ご夫妻、布津町より小関様をゲストティーチャーとしてお招きし、福祉体験の学習(①腰の曲がったお年寄りの歩行【お年寄り役、介助する側】 ②車椅子体験【乗る人、介助する側】)を行いました。

①長時間、膝が曲がったまま腰を曲げて歩くと疲れる。腰が曲がっているため、見える範囲が限られる。階段の上り下りが疲れる。バスケットのリングにシュートしようとするが、全然届かない。

②段差があると車椅子が通りにくい。段差で強く押されるとひっくり返りそうになる。などの発見があり、それぞれ大変のようでした。介助する側にとっても、時折、「〇〇しますよ」、「大丈夫ですか?」、「気を付けてください」などと相手の気持ちを考えて声を行っていました。



< 特殊な紐で膝を固定 > < 腰を曲げたまま歩く練習 > < 車椅子の介助の仕方説明 > < 車椅子介助の実際 >

入賞者の紹介 入賞おめでとうございます! (敬称略)

< 令和6年度 島原・天草・長島架橋構想絵画コンテスト審査結果 >

入選 4年 松永

(入賞作品14点が 2月17日(月)12時までイオン有家店に展示されています。)

給食集会 1月29日(木) / 給食週間(1月24日～1月30日)

1月24日～30日は全国給食週間でした。学校給食はたくさんの方々の関わりにより行われていること、給食の意義や役割について理解を深めようと、本校では、次のような取り組みを行いました。

- ☐ DVD「給食室の様子」を視聴し、感想交流をする。 ☐ 給食標語の募集
- ☐ 感謝の手紙を書く。(給食センター職員の皆さん、パン屋さん、牛乳屋さんへ。)

給食集会では、

- ☐ 「給食クイズ」 (①給食のメニューを考えている人は誰? ②お盆に置くお皿の置き方は? ③正しい箸の持ち方は?)

- ☐ 栄養素クイズ(ごはん、さかな、にんじん、いもは、それぞれ 赤・黄・緑?) ☐ 栄養の歌

また、この一週間は、長崎県の郷土料理がメニューとして出されました。子供たちにも好評でした。



< 給食委員会メンバー >



< 給食メニューは誰が? >



< 給食 三択クイズ >

ワックスがけ (2月3日・4日)

2月3日(月)各教室・特別教室を、2月4日(火)廊下のワックスがけを行いました。一年に1回行いますので、事前の水拭きもいねいに行いました。下校時には、机・椅子などを廊下に出して教室を空っぽにしていました。また、翌朝は、廊下に出していたものを教室に入れる作業があります。各学年でやるのだらうと思っていたら、割当があったのでしょうか、登校した5・6年生が下学年の分も入れていました。何も言われなくても率先して働いている子供たちに感心した次第です。

なわとび集会 (2月6日)

寒さが厳しかったのですが、2月6日(木)に「なわとび集会」を低中高学年別に実施しました。底冷えのする体育館でしたが、子供たちは元気に短なわ・長なわをがんばっていました。

記録更新、目標達成の子供も多かったようです。堂崎っ子は、粘り強さ・チームワークとともに、寒さに負けず頑張っていました。



市学力調査の結果が届きました

12月に全校児童に実施した市学力調査の結果が届きました。個人の結果については、個人票を学級部会の時にお渡しします。個人の結果とともに、学年ごとの習熟状況等についてまとめられたものも届いています。子供たちの学習状況をみて、身に付いていない内容については、学年末の指導に活かしていきます。



教師の一番の仕事は学習指導です。「こんな授業は楽しく学べるだろう」「こんな授業をすれば、子供たちは理解するだろう」などと、子供の実態を考えて、教材研究を重ねながら授業をしています。そして、学力調査のデータは、教師にとっては指導を振り返る指標となります。子供たちがよく理解できている部分、できていない部分はどこなのか。子供の変容が見られると、教師として喜びを感じますし、成果が見えなければ別の手立てを考えないといけません。今後、データを活用して指導に活かします。学校におけるより深まりのある学びと家庭学習の充実を図って参りましょう。